



2026年5月14日

各位

上場会社名 株式会社日本ピグメントホールディングス
代表者名 代表取締役社長 田代 喜一
(コード番号 4119 東証スタンダード)
問合せ先責任者 常務執行役員 梶 英俊
(TEL 03-6370-8412)

連結子会社における特別損失（減損損失）の計上 および通期連結業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）において特別損失の計上を行うとともに2026年2月13日に公表しました通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

- 1) 当社連結子会社である日本ピグメント㈱の化成品事業において固定資産に係る回収可能性を検討した結果、減損損失288百万円を計上することといたしました。
- 2) 過年度に減損損失を計上した液体分散体事業に係る日本ピグメント㈱の埼玉児玉工場の資産について収益性の回復が遅れていることから、当期においても減損損失22百万円を計上することといたしました。

2. 通期連結業績予想値と実績値の差異について

通期業績予想値と実績値の差異

2026年3月期通期連結業績予想値と実績値の差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	44,500	1,200	1,350	900	573.40
実績値（B）	42,224	1,509	1,797	1,159	738.43
増減額（B－A）	△2,275	309	447	259	－
増減率（％）	△5.1	25.8	33.1	28.8	－
（ご参考）前期通期実績 （2025年3月期）	37,921	176	402	5,026	3,202.18

差異の理由

売上高は、販売構成の影響で減少となりましたが、営業利益では、受託加工を中心に受注が増えたことや、一部海外子会社での業績が良好に推移したことにより当初見込みより増加しました。

また、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益では、国外の関連会社の下期業績が順調に推移し持分法投資利益が上振れたことや海外子会社での為替換算差益により増加しました。

以上